



2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月8日

上場会社名 株式会社ストリーム 上場取引所 東
 コード番号 3071 URL https://www.stream-jp.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 勝久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)齊 向東 (TEL)03(6823)1125
 四半期報告書提出予定日 2021年6月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第1四半期の連結業績(2021年2月1日~2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	7,532	15.3	360	—	363	—	303	978.8
2021年1月期第1四半期	6,532	10.1	5	△87.9	△1	—	28	4.3

(注) 包括利益 2022年1月期第1四半期 301百万円 (—%) 2021年1月期第1四半期 25百万円 (△8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	11 13	— —
2021年1月期第1四半期	1 03	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第1四半期	8,147	2,668	32.0
2021年1月期	6,072	2,367	37.9

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 2,603百万円 2021年1月期 2,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
2022年1月期	— —	— —	— —	— —	— —
2022年1月期(予想)	— —	0 00	— —	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,240	0.6	634	△4.1	609	△4.8	499	△12.6	18 29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期1Q	28,525,000株	2021年1月期	28,525,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期1Q	1,236,500株	2021年1月期	1,236,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期1Q	27,288,500株	2021年1月期1Q	27,288,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 2022年1月期 第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年2月～2021年4月)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況の中、感染再拡大への懸念は依然として払拭されず、ワクチン接種への期待感が高まる一方、先行き不透明な状況が続いております。また、海外においても、新型コロナウイルス感染症の影響で、渡航制限や外出制限等により、厳しい経済環境が続いております。

当社グループは、お客様のライフスタイル作りのサポートとして「より良い商品」「より良い価格」「より良いサービス」をモットーに、新しい価値観の提案・提供を通して社会の発展に貢献することを経営の基本方針に、既成概念にとらわれることなくチャレンジを続け、インターネット通販事業を中心に事業活動を行っております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①インターネット通販事業

当第1四半期連結累計期間(2021年2月～2021年4月)における国内の家電小売業界は、インターネット販売を中心に新型コロナウイルス感染症対策に伴うリモートワークの普及や巣ごもり需要は一巡しつつあるものの、パソコン周辺機器や空気清浄機、加湿器が牽引した季節家電は好調に推移いたしました。

このような状況の中、当社が出店する「楽天市場」「Yahoo!ショッピング」「Amazonマーケットプレイス」等の外部サイトの売上高は、外出自粛や新しい生活様式の定着により在宅率が上昇したことに伴い、より良い「おうち時間」を過ごすために調理家電や洗濯機等を中心に好調に推移いたしました。また、パソコン周辺機器である無線LANルーターやHDD等についても前年同四半期比で伸長しており、今後も売れ筋商品の在庫施策等により更なる売上高確保に努めてまいります。

オリジナルサイト「ecカレント」においては、WEB接客ツールのチャット機能を活用することにより、設置サービスが必要な洗濯機、冷蔵庫等の大型家電の売上高は、引き続き好調に推移いたしました。また、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」の外部サイトにおいても大型家電の配送設置サービスは、堅調に推移いたしました。

当社が運営している家電レンタルサイト「レントコ」は、2021年4月にオープン1周年を迎えました。それに伴い記念キャンペーンを展開し、割引クーポンの提供等によりユーザビリティを高め、又、雑誌やチラシの広告展開を行いレンタル事業の強化を進めております。

各カテゴリにおける前年同四半期比では家電14.3%増、パソコン5.3%増、周辺機器・デジタルカメラ41.2%増となりました。

売上高及び利益面に関しましては、在庫施策と連動した販促効果もあり前年同四半期比で増収増益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,157百万円(前年同四半期比17.1%増)、営業利益455百万円(前年同四半期比236.9%増)となりました。

インターネット通販事業の売上・受注件数等の推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	受注件数(千件)	棚卸資産回転率 (回転/年換算)
当第1四半期連結累計期間	7,157	455	379	12.3
前第1四半期連結累計期間	6,111	135	365	12.4

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

(百万円)

	家電	パソコン	周辺/デジカメ	その他	合計
当第1四半期連結累計期間	3,843	942	2,073	298	7,157
前第1四半期連結累計期間	3,363	894	1,468	385	6,111

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

②ビューティー&ヘルスケア事業

株式会社エクスワンにおいて展開される、ビューティー&ヘルスケア事業においては、新商品として、2021年4月に、ヒト幹細胞培養液配合「XLUXES(エクスリユクス)」シリーズより、年齢による髪の悩みをケアし豊かな艶髪を実現する、洗い流さないヘアトリートメント「エクスリユクス モイスチャーヘアウォーター」を発表し、売上高は堅調に推移いたしました。

会員ビジネスにおいては、これまで東京等の会場で月1回程度実施していた対面でのセミナーから、新型コロナウイルス感染症対策に伴いWEB会議アプリケーションによる動画(ライブ含む)配信を活用したオンラインセミナーを週3回程度のペースで積極的に展開し、会員とのきめ細やかなコミュニケーションを行っており、売上高は堅調に推移いたしました。

販促策としましては、2021年2月、地下鉄表参道駅の構内に、2020年3月よりエクスワンの化粧品ブランドアンバサダーに起用した高橋真麻氏の交通広告の再掲出を行い、それに合わせてXLUXESシリーズの特別キャンペーンを実施しました。

売上高に関しましては、会員向けビジネスは概ね計画通り推移しましたが、卸販売においては新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により依然として店舗販売は厳しい状況が続いており、全体として前年同四半期を下回りました。利益面に関しましては、昨年より継続して取り組んだ構造改革やコスト削減の効果もあり、収益体質は改善しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は213百万円(前年同四半期比22.4%減)、営業損失32百万円(前年同四半期は68百万円の営業損失)となりました。

ビューティー&ヘルスケア事業の売上推移

(百万円)

	パーソナルケア	ヘルスケア	その他	合計
当第1四半期連結累計期間	133	68	11	213
前第1四半期連結累計期間	165	92	17	275

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

③その他事業（「各種販売支援事業」、「3PL事業」）

「各種販売支援事業」においては、国内免税店6店舗において訪日観光客向け販売や株式会社エックスワン商品の会員向け販売のシステム・物流支援等を行っております。

「3PL事業」においては、当社が運営する「e c カレント」をはじめインターネット通販サイト運営で培ってきたノウハウを基に、販売から物流までワンストップで管理する質の高いシステムをインターネット通販事業者の皆さまに対して提供してきた実績を活かし、物流倉庫・受注管理・出荷の包括的な物流支援サービスである本事業の更なる強化を図っております。PCや家電以外の自転車等の案件によりビジネスは堅調に推移いたしました。

また、当社コーポレートサイトに3PL事業紹介サイト(<https://www.stream-jp.com/business/3pl/>)の開設や、継続的に新聞やインターネット（主に検索連動型）での同事業の広告展開を進めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は180百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益23百万円（前年同四半期比37.1%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,532百万円（前年同四半期比15.3%増）、営業利益360百万円（前年同四半期は5百万円の営業利益）、経常利益363百万円（前年同四半期は1百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は303百万円（前年同四半期比978.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,074百万円増加し、8,147百万円となりました。これは主に、現金及び預金799百万円増加、受取手形及び売掛金409百万円増加、商品804百万円増加によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,773百万円増加し、5,478百万円となりました。これは主に、買掛金1,868百万円増加、短期借入金41百万円増加、未払金89百万円減少、未払法人税等78百万円減少によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ301百万円増加し、2,668百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益303百万円の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ799百万円増加し、2,194百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、818百万円(前年同四半期は32百万円使用)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益357百万円、仕入債務の増加額1,868百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額409百万円、たな卸資産の増加額804百万円、法人税等の支払額119百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、53百万円(前年同四半期は35百万円使用)となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出36百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は、34百万円(前年同四半期は87百万円増加)となりました。収入の内訳は、短期借入金の純増額41百万円、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の業績予想に関しましては、2021年3月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394,259	2,194,167
受取手形及び売掛金	1,319,819	1,729,002
商品	2,316,413	3,120,896
その他	111,572	141,557
流動資産合計	5,142,065	7,185,623
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	111,372	127,511
車両運搬具（純額）	5,046	4,713
工具、器具及び備品（純額）	34,140	47,122
土地	2,003	2,003
有形固定資産合計	152,562	181,350
無形固定資産		
ソフトウェア	300,918	302,142
その他	19,394	21,925
無形固定資産合計	320,313	324,067
投資その他の資産		
投資有価証券	2,504	2,510
出資金	270	270
差入保証金	370,912	368,325
その他	100,171	101,361
貸倒引当金	△15,876	△15,876
投資その他の資産合計	457,982	456,591
固定資産合計	930,859	962,009
資産合計	6,072,924	8,147,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,359,907	3,227,955
短期借入金	923,500	965,000
1年内返済予定の長期借入金	55,288	63,608
未払金	648,318	559,148
未払法人税等	137,062	58,653
賞与引当金	4,666	11,666
ポイント引当金	7,562	7,291
その他	134,349	152,349
流動負債合計	3,270,655	5,045,672
固定負債		
長期借入金	325,542	311,720
その他	109,603	121,511
固定負債合計	435,145	433,231
負債合計	3,705,801	5,478,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	924,429	924,429
資本剰余金	876,888	876,888
利益剰余金	650,974	954,787
自己株式	△152,609	△152,609
株主資本合計	2,299,683	2,603,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	108
その他の包括利益累計額合計	102	108
非支配株主持分	67,337	65,123
純資産合計	2,367,123	2,668,728
負債純資産合計	6,072,924	8,147,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年4月30日)
売上高	6,532,360	7,532,613
売上原価	5,228,286	5,676,556
売上総利益	1,304,073	1,856,056
販売費及び一般管理費	1,298,222	1,495,622
営業利益	5,851	360,433
営業外収益		
受取利息	8	12
受取手数料	858	306
為替差益	-	2,490
受取保険金	-	6,057
還付加算金	382	18
その他	276	1,786
営業外収益合計	1,525	10,673
営業外費用		
支払利息	6,832	6,343
支払手数料	950	1,000
為替差損	345	-
その他	250	251
営業外費用合計	8,378	7,595
経常利益又は経常損失(△)	△1,001	363,511
特別損失		
固定資産除売却損	4,473	1,098
本社移転費用	-	4,617
特別損失合計	4,473	5,715
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,474	357,795
法人税等	△30,683	56,196
四半期純利益	25,208	301,599
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,953	△2,213
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,161	303,812

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	25,208	301,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	5
その他の包括利益合計	△47	5
四半期包括利益	25,161	301,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,114	303,818
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,953	△2,213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,474	357,795
減価償却費	39,341	37,890
賞与引当金の増減額(△は減少)	△739	7,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△232	△271
受取利息及び受取配当金	△8	△12
支払利息	6,832	6,343
為替差損益(△は益)	82	△106
固定資産除売却損益(△は益)	4,473	1,098
本社移転費用	-	4,617
売上債権の増減額(△は増加)	△384,285	△409,183
たな卸資産の増減額(△は増加)	414,887	△804,317
仕入債務の増減額(△は減少)	△110,458	1,868,048
その他	30,745	△119,712
小計	△4,837	949,189
利息及び配当金の受取額	8	12
利息の支払額	△6,833	△6,387
本社移転費用の支払額	-	△4,617
法人税等の支払額	△21,024	△119,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,686	818,692
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	3,000	-
有形固定資産の取得による支出	△12,858	△19,694
無形固定資産の取得による支出	△32,310	△36,651
子会社の清算による収入	6,744	-
差入保証金の差入による支出	△3	△6,121
差入保証金の回収による収入	-	8,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,427	△53,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	111,000	41,500
長期借入金の返済による支出	△22,200	△5,502
その他	△1,585	△1,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,214	34,867
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,100	799,907
現金及び現金同等物の期首残高	658,944	1,394,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	678,045	2,194,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	ビューティ&ヘルスケア事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,111,911	270,889	149,559	6,532,360	—	6,532,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	71	4,539	18,918	23,529	△23,529	—
計	6,111,982	275,428	168,478	6,555,889	△23,529	6,532,360
セグメント利益又は損失(△)	135,210	△68,188	16,785	83,806	△77,955	5,851

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△77,955千円は、セグメント間取引消去△135千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,820千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. その他事業は、各種販売支援事業及びオンライン・ゲーム事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	ビューティ&ヘルスケア事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,157,494	207,775	167,343	7,532,613	—	7,532,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	43	5,880	13,186	19,110	△19,110	—
計	7,157,537	213,656	180,529	7,551,723	△19,110	7,532,613
セグメント利益又は損失(△)	455,519	△32,484	23,011	446,046	△85,612	360,433

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△85,612千円は、セグメント間取引消去△1,117千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△84,495千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. その他事業は、各種販売支援事業及び3PL事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。